S-Stage KIT 取扱説明書

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。 使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、 お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了 承下さい。 商品番号: 0 1 0 5 5 0 0 V A Type モンキー・ゴリラ Z50J-1000001 ~ 1510400 6 V ダックス CD 5 0 CD50-1300001 ~ 1330600 カブ 5 0 C50-N000002 ~ V488897 C50-Z000002M ~ Z069126M C50-5200011 ~ C50-3000001 ~ 3431226 C50-4000001 ~ 4223783

▲ 使用燃料についてのご注意 ▲

SステージKITは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。KIT取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

▲ スパークプラグについてのご注意 ▲

スパークプラグは必ずC8HSA(NGK)または、U24FS‐U(DENSO)に交換し、電極部の焼け具合により 番数を決定して下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型 2 輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付 2 種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

この製品のシリンダーはノーマルキャブレターが干渉します。ノーマルキャブレター取り付けの際には干渉部分を加工して下さい。

ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアークリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを 交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れが あります。

この取扱説明書に記載している作業は、モンキーの車両を主体としており、他の適応車種には適さない場合があります。

燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

セルモーター始動による車両につきましては、バッテリーが満充電の場合でもセル始動が困難になる場合があります。

- ⚠️ 注意 | この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。
 - ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
 - (法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
 - ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。(火傷の原因となります。)
 - ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
 - ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
 - ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
 - ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。 (部品の脱落の原因となります。)
 - シリンダーヘッドは、必ず指定トルクで増し締めを行って下さい。
 - ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品 部品と交換して下さい。
- 🚹 警告 |この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 - ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。 (一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
 - ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
 - ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
 - ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
 - (不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
 - ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
 - (そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
 - ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等 の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

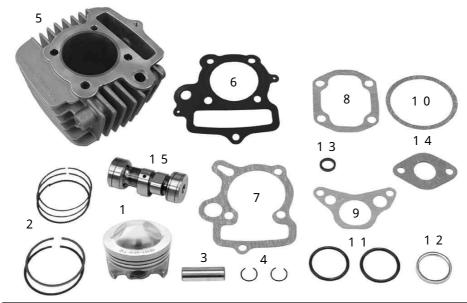
-1-

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

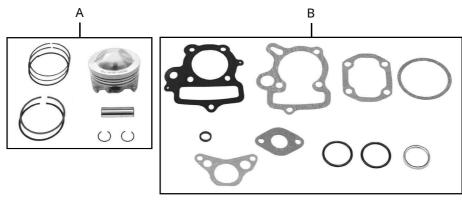
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

キット内容



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	13101 GPH T10	1
2	ピストンリングセット	1	0 1 1 5 0 1 4	1
3	ピストンピン	1	000 02 102	1
4	ピストンピンサークリップ	2	000 02 120	6
5	シリンダー	1	0 1 0 1 0 2 2 2	1
6	ヘッドガスケット	1	000 13 040	1
7	シリンダーガスケット	1	000 13 054	2
8	ヘッドカバーガスケット	1	000 13 049	2
9	右サイドカバーガスケット	1	000 13 055	2
1 0	左サイドカバーガスケット	1	000 13 051	2
1 1	タペットキャップOリング	2	000 13 052	4
1 2	エキゾーストパイプガスケット	1	000 13 046	2
1 3	ラバーパッキン 16mm	1	000 13 018	1
1 4	インレットパイプガスケット	1	000 13 053	3
1 5	カムシャフト	1	0 1 0 8 0 3	1



A ピストンキット 01 02 510 B ガスケットA 01 13 0608

リペアパーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいます様お願い致します。

作業の前に

作業を行う前に車両は水平な場所で確実に安定させて下さい。備え付けのサイドスタンドで車両を支えるよりもレーシングスタンド等の使用を お勧めします。車両を確実に安定させながら作業を行うことが出来ます。

作業は必ずエンジンを停止させた上に冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。

フューエルコックはOFFにして下さい。

再使用するボルトやナットや各パーツは取り外した際にホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにして下さい。

取り外したボルトやナットや各パーツは無くさないよう、どの場所に使用するのかわかるように保管して下さい。

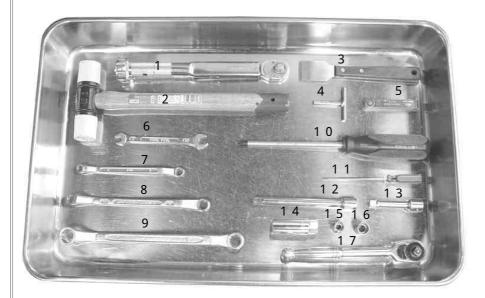
工具について

正しい工具を正しく使用しない場合はボルトやナットや各パーツのかかり部分やネジ部分が破損する場合があります。

取り付けの経験が無いほど正しい工具が必要です。また、それらを正しく使用する経験も同様に必要です。準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

この商品の取り付けに使用する工具等を下記に掲載しますので参考にして下さい。なお、車種やその年代により工具の内容が異なる場合がありますのでご了承下さい。

工具は同じ名前のものでも数々のメーカーや種類があったり、同じ工具でも名前が違ったります。また、好みもありますので参考程度でお考え下さい。



1	トルクレンチ
2	プラスチックハンマー
3	スクレーパー
4	タペットアジャストレンチ
5	シックネスゲージ
6	スパナ 8 - 10
7	メガネレンチ 8 - 9
8	メガネレンチ 10-12
9	メガネレンチ 14-17
	プラスドライバー サイズ 1
1 1	マイナスドライバー 極細先
1 2	エクステンションバー 中
1 3	エクステンションバー 小
1 4	プラグソケット 16mm
1 5	ソケット 12mm
1 6	ソケット 10mm
1 7	ラチェットレンチ
	ウエス
	エンジンオイル(塗布用)

ボルトについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。

ネジをゆるめるということは、締まっている状態から3~4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。

ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。ただ、ボルトは強く締め過ぎると折れ、弱過ぎると走行中に振動等でゆるんで部品脱落の恐れがあり、大変危険です。ボルトが折れない・ゆるまないような締める力を数値として表したのが規定トルクです。また、その数値はボルトの大きさによって変わります。

トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。

-3-

各部品名称	

ご走行前に

お願い

一般公道を走行される場合は小型 2 輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付 2 種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。

キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

使用燃料について

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップし、ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて扱いにくい状態になります。また、各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあるために必ずドライブ / ドリブンスプロケットを変更し、スプロケットのハイギヤー化を各自で行って下さい。

スプロケットはキット内に含まれておりません。

スプロケットはクラッチ形式やホイールサイズにより変わります。下の表を参考にして下さい。また、体重や使用用途、好みによるものもありますので参考程度でお考え下さい。

ドリブンスプロケットを変更する時はリアホイール周りを取り外します。レーシングスタンド等で車両を確実に支え、リアホイールを浮かせて作業を行って下さい。

S ステージ Aタイプ 推奨スプロケット(体重65kg時)

車種	仕様			推奨スプロケット		
半性	リアホイールサイズ クラッき		トランスミッション	ドライブスブロケット(フロント)	ドリブンスプロケット(リア)	
6 Vモンキー	8 インチ	遠心 3速 15		2 8		
6 Vモンキー・ゴリラ	8 インチ	マニュアル	4速	1 5	2 5	
	0127	強化クラッチ	4速	1 6	2 5	
ベンリ CD50	17インチ	マニュアル	4速	1 6	42、43(ノーマル)	
スーパーカブ50	1 7 インチ	遠心	4速	1 6	4 2	
7 7 73 7 3 0	17127		3速	1 6	3 5	
6 V ダックス	10インチ	遠心	3速	1 6	3 1	
		マニュアル	4速	1 6	3 1	

ノーマルのスプロケットから推奨スプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすことが出来ない、または足りなくなる 場合があります。チェーンカッター等を使用してチェーンを短くする必要や、新たにドライブチェーンを用意する必要があります。特にモンキーの 場合などはスイングアームの長さによりチェーンの長さも変わります。

更なる性能を発揮させるために

キャブレター

S ステージの出力を有効に引き出す、車種専用のビックボアキャブレターキットを取り付けることにより、更なるパワーアップが可能です。

S ステージ A タイプ 推奨ビックボアキャブレターキット

車種	品番		
モンキー・ゴリラ Z50J-1000001~1195595は除く	0 3	0 5	3 2 0
ダックス ST50-6300022~6346265は除く	0 3	0 5	3 2 1

マフラー

更なるパワーアップには当社製各種マフラーをご使用下さい。

オイルポンプ

出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。大量のオイルを循環し、各部の冷却や負担を軽減するスーパーオイルポンプの装着をお薦めします。

S ステージ Aタイプ 推奨スーパーオイルポンプ

車種	品番			
モンキー・ゴリラ				
ベンリ CD50	0 1	1 6	0 0 4 1	
ダックス				

オイルクーラー

エンジンに長時間の負荷を与える走行はエンジン発熱量が更に増大します。油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

STD部品取り外し

1.キャブレターを取り外す



ガソリンタンク左下部にあるガソリンコックを OFFにする。

シリンダーヘッドとインレットパイプを止めて いるボルト2本を反時計方向に回し取り外す。

エアクリーナーステー部のボルトを反時計方向

に回し取り外す。



マフラー本体を止めている6角ボルトを反時計方 向に回し取り外す。



マフラー本体裏側に止まっているナット



方向に回し取り外す。



してマフラーを車体から取り外す。





フューエルホースと大気ホースを取り外す。 スロットルケーブルを取り付けたままキャブレ ターASSY .を車体から離し左前方のウイン カーに引っかけておく。

2.マフラーを取り外す



EXパイプ部のナット2個を反時計方向に回し



フェンダーを取り外す

フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を反時 計方向に回し取り外す。

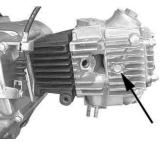
4.スパークプラグを取り外す

プラグキャップをプラグから引っ張って取り外 す。必ずキャップ部分をつかんで引っ張って外し



プラグレンチを使いプラグを反時計方向に回し取 り外す。

5.シリンダーヘッド左カバーを取り 8.カムスプロケットを取り外す 外す



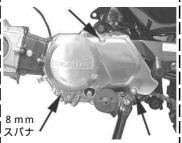
シリンダーヘッド右カバーの真ん中の6角ボルト を外すと左カバーが外れる。ボルトを外しても 外れない場合六角ボルトを2~3山ねじ込み6角 ボルトの頭をハンマー等で軽くたたくと外れる)



6.クランクケース左カバー取り外す



シフトペダルの6角ボルトを外しシフトペダルを 反時計方向に回し取り外す。



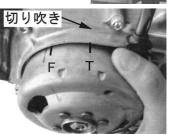
クランクケース左カバーを止めているボルト3本 を反時計方向に回し取り外す。

7.タペットキャップ2個を取り外 す



タペットキャップ2個を反時計方向に回し取り 外す。





フライホイールのTマークとカムスプロケット のOマークが各切り欠きに合う様にフライホ イールを反時計方向に回転させて合わせる。



フライホイールを固定しカムスプロケット6角 ボルト3個を反時計方向に回し取り外す。



カムプロケットを小型のマイナスドライバー等 でこじてカムシャフトから外す。 カムチェーンをカムスプロケットから外してカ ムスプロケットを取り出す。

. シリンダーヘッドサイドボルト を取り外す



シリンダーヘッドとシリンダーを止めているシ リンダーヘッドサイドボルトを反時計方向に回 し取り外す。



シリンダーのガイドローラーボルトとシリン ダーとクランクケース間のサイドボルトを反時 ┃ 1 2 . シリンダーを取り外す 計方向に回しゆるめる。

10.シリンダーヘッドカバーを取 り外す



シリンダーヘッドカバーを止めているナット4 個を対角の順番に反時計方向へ回し取り外す。 ナット下にあるワッシャ4枚を取り外す



ヘッドカバーを取り外す。(かたい場合はプラス チックハンマーで軽くたたき、取り外す) シリンダーヘッドにガスケットが残った場合 は、スクレーパーかカッター等できれいに取り

11.シリンダーヘッドを取り外す

フロントタイヤの空気を抜く。(プラスドライ バーの先などでバルブを押すとエアーが抜けま すのでシューという音がでなくなるまで押し続 けます。)



シリンダーヘッドをシリンダーから前方へ引っ 張って取り外す。(かたい場合はシリンダーヘッド をプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す)



フロントタイヤを押しながらシリンダーヘッドを 取り外す。ここでタイヤの空気を抜いた訳をご理 解いただいたと思います。

ノックピン2個は再使用するので取り外してお



ゆるめておいたガイドローラーボルトとシリン ダーサイドボルトを反時計方向に回し取り外す。



シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい場合は プラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、 取り外す)



シリンダーを抜く途中でカムチェーンガイドロ ラーが出てくるので取り外す。



ピストンが抜けたらタイヤを手で押さえながらシ リンダーを前方へ取り外す。

-7-

13.ピストンを取り外す



ン部にゴミや部品などを絶対落とさないようにウ エスを詰め込む。



ピストンサークリップの片側を取り外す。 ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるよ うにすると外れます。



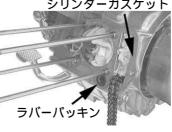
ピストンピンをピストンサークリップが付いてい ない方向へ取り外す。ピストンサークリップの付 いている方向からマイナスドライバーで押してあ げると簡単にとれます。



ピストンを取り外す。

14.シリンダーガスケット・ラバー パッキン・ノックピンを取り外

シリンダーガスケット



ガスケットがきれいにはがれない場合クランク ケースにキズを入れないようにスクレイパーや カッターできれいにはがすこの時クランクケー スセンターガスケットがシリンダーベース面や シリンダーホール部にはみ出ている場合は切り 取っておく。

クランクケース内にゴミや部品などを絶対落と さないように。



上写真の指さし部にはみ出ているガスケットが あれば切り取っておく。

アルミシリンダー取り付け時の注意

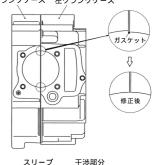
左右クランクケースのズレ等により、シリンダー を取り付ける際、クランクケース合わせ面のス リープ穴、丸印部分とシリンダースリーブの斜線 部分及びケース内部で、干渉する場合があります。 そのままの状態で使用するとスリーブが変形しエ ンジントラブルの原因となりますので必ず点検、 修正して下さい。

この作業は難易度は高いけれどチョット、プロの 作業に近づいた感じはありますね。

<u>修 正 要 領</u>

- . クランクケース内に削り粉が入らないように しっかりとウエスを詰める。
- クランクケース合わせ面のズレの出っ張って いる部分を引っ込んでいる部分と同じ高さに なるまでヤスリで削ります。
- 削り取ったら削り粉がクランクケース内に入 らないよう慎重にウエスを取り除く。
- ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスを クランクケースの穴に詰めておく。
- . キットの組立が終わってエンジンをアイドリ ングで数分かけた後、すぐにエンジンオイル を新品に交換すればOK。

右クランクケース 左クランクケース



Mar./30/07

S-StageKIT 取り付け

1. ピストンを組み付ける



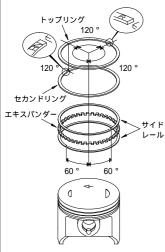
ピストンの片側に付属のピストンピンサーク リップをサークリップ溝にきっちりはめ込む。 この時、サークリップの合い口は切り欠き部を 避けて取り付けて下さい。



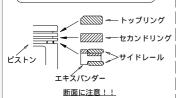
ドライパーでピストンにキズを付けないように 押し込むと比較的簡単に取り付けられます。 ピストンサークリップは左側を先にはめ込みま す。

ピストンリングみぞにエンジンオイルを塗りピストンリングをオイルリングエキスパンダー、 下オイルリングサイドレール、上オイルリング サイドレール、セカンドリング、トップリング の順に取り付ける。

下図を参考にして、各ピストンリングの合い口 を合わせる。



トップリングの上面にはRの 刻印セカンドリングの上面に はRNの刻印があります。





オイルリングエキスパンダーを入れる。



下オイルリングサイドレールを入れる。



上オイルリングサイドレールを入れる。



セカンドリングを入れる。



トップリングを入れる。





ピストンピン部とコンロッドにエンジンオイルを 塗りピストンピンを取り付ける。



ビストンヘッド部三角マークの先を下(エキ ゾースト側)になるようにしてピストンを取り付ける。



ビストンに三分の一程度ビストンビンを挿入して おいて取り付けるのも簡単な方法ではある。 付属のビストンピンサークリップをサークリップ 溝にきっちりはめ込む。



ドライバーでピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けられます。押し込み中にサークリップが外れて飛んでしまうことがあるので慎重に行って下さい。目に入らぬように防護ががななどを着用して下さい。 詰めていたウエスを取り外す。

2.シリンダーの取り付け

ノーマルキャブレターはシリンダーの冷却フィン と干渉するので、シリンダーの干渉部分を加工し てから取り付ける。(Vシリンダーの場合)



mI A

シリンダーベースガスケット面のシリンダー側とクランクケース側をシンナー等で脱脂する。





シリンダーガスケットとラバーパッキンを取り付ける。



ノックピン2個が取り付いているか点検。



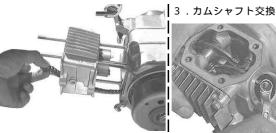
キットのシリンダー内にエンジンオイルを塗布 し指で均等に塗り広げる。



タイヤを押さえながらシリンダーを入れていく



シリンダーをピストンリングの合い口がずれな い様にしながら指で押し少しずつはめる。



リングがシリンダーにはいったらカムチェーン をシリンダーに通しシリンダーをクランクケー スにはめる。



シリンダーヘッドに組まれているロッカーアーム のタペットナットとボルトを緩める。 タペットナットを緩めた時点でタペットボルトを ナットと一緒に取り外す。



ッドガスケットを取り付ける



(エンジンを前から見て左下が銅ワッシャ残りの 3つは鉄ワッシャ、右下が6角ナット残りの3 つがふくろナット)



カムチェーンを引っ張りながらガイドローラー をつけてる。



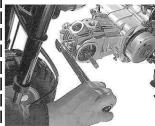
カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付 け、引っ張るかプラスチックハンマーでヘッドを 軽くたたくと抜けてくるので無理に引っ張らずカ ムシャフトを回しながら取り外す。



タイヤを手で押しながらシリンダーヘッドをスタ ットボルトに通す。 シリンダーヘッドにカムチェーンを通しながら取 り付ける。



カムチェーンはシリンダーの方に落ちない様にカ ムシャフトの真ん中の穴にドライバー等を入れて (トルクレンチがない場合は対角に少しずつしっ カムチェーンを止めておく。



ヘッドナットを均等に締め付ける。 かり締める) 締め付けトルク

12N·m(1.2kgf·m)



シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイド ローラーのセンターが合う様に押し込む。

キット内のカムシャフトを逆の手順で取り付ける。 カムシャフト・カムシャフトベアリングにきれい なエンジンオイルを塗布する。入りにくくてもハ ンマー等でたたかず手で入れる。



_____ シリンダーヘッドカバーのガスケットとヘッドカ バーを取り付ける。

ヘッドサイドボルトを取り付ける。先に仮止め していたガイドローラーボルトとシリンダーサ イドボルトを締め付ける。



ガイドローラーボルトを取り付ける。 (指で閉まる程度まで仮止め)

シリンダーサイドボルトを取り付ける。 (指でしまる程度まで仮止め)



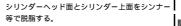
に回して取り付ける。



矢印は下の方向です。



4.シリンダーヘッド取り付け





シリンダーにノックピン2個を取り付ける。

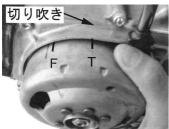




締め付けトルク ガイドローラーポルト サイドポルト上下

10N·m(1.0kgf·m) 10N·m(1.0kgf·m)

5.カムスプロケットの取り付け



フライホイールのTマークをクランクケースの 切りかき部に合わす。

カムスプロケットボルト穴をシリンダーヘッド の切り欠き方向に向けたとき刻印が上になるより切り欠き うにセットする。それがカムシャフトの圧縮上 死点です。



カムスプロケットをはめたあとはボルトを取り 付ける。カムチェーンにカムスプロケットをか けながらカムスプロケットのOマークとシリン ダーヘッドの切りかき部が合う様にカムチェー ンをはめてカムシャフトに取り付ける。



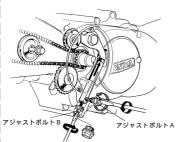


フライホイールを固定してカムスプロケットボ ルトを3本締め付ける。

締め付けトルク 9 N・m (0.9 k g f・m)

6.カムチェーンの調整

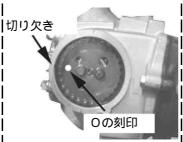
カムチェーンの調整を行った場合は、"14. 点火タイミング点検 "を行って下さい。



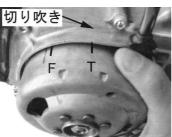
8 mmナットを緩め、アジャストボルトAを緩め れば、スプリングにより自動調整されますが、 カムチェーンの張りが十分でない場合はアジャス トボルトAを緩めたままアジャストボルトBを 徐々に締め込み、フライホイールを回しても、 カムスプロケットとのガタが無い程度に調整を行

アジャストボルトAを締め込み、8mmナットを 締め込む。

7.バルブタイミング調整とタペット 調整

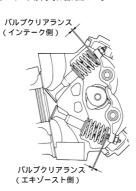


シリンダーヘッド側



フライホイール側

カムシャフトのOマークとフライホイールのT マークがそれぞれの切りかきに合う様にして止め る。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止 まらないがカムスプロケットを取り付けてTマー クとOマークが同時に合えばOK。







ロッカーアームのタペットスクリューを締め込ん でいきタペットスクリューとバルプステムエンド の間に005ミリのシックネスゲージを入れて少 し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせて タペットナットを締め付ける(少し抵抗があると いうのがわからない場合0.07と0.03のシッ クネスゲージを用意して0.07がすき間に入ら ず0.03がゆるく入る様に合わせればだいた い0 .0 5 ミリということになる) I N . E X共に 0.05ミリに合わせる。



タペット調整後、反時計方向にフライホイールを 2回転手で回した後でTマークとOマークを合わ せる。



タペットすき間が変化していないか点検しすき間 が合っていればOK、くるっている場合は調整す





タペットキャップ2個を取り付ける。 締め付けトルク

12N·m(1.2kgf·m)

8.シリンダーヘッド左カバー取り 付け

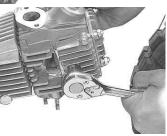


シリンダーヘッド左カバーガスケットと左カ バーを取り付ける。

(左サイドカバーがボルトを締めたときに右回り しないように回り止めを合わせる)







シリンダーヘッド右側の6角ボルト(矢印)を 締める。

締め付けトルク

1 2 N · m (1 .2 k g f · m)

9.スパークプラグの取り付け



プラグレンチを使いプラグを取り付ける。 締め付けトルク

11N·m(1.1kgf·m) プラグキャップをプラグに取り付ける。



マフラー本体を止めている6角ボルトを取り付け る。(仮止め) 締め付けトルク

26N·m(2.7kgf·m) 仮止めの三カ所を締め付ける。

11.ノーマルキャプレターの取り付

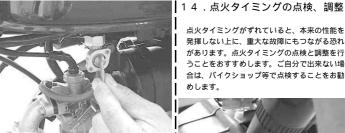
エアクリーナーステー部のボルトをアース線と共

10N·m(1.0kgf·m)

ゖ

締めで取り付ける。

締め付けトルク



フューエルコックをONにする。

点火タイミングがずれていると、本来の性能を 発揮しない上に、重大な故障にもつながる恐れ があります。点火タイミングの点検と調整を行 うことをおすすめします。ご自分で出来ない場 合は、バイクショップ等で点検することをお勧 めします。



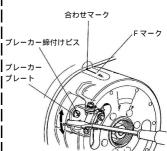
タイミングライト(00-01-009)を用 いて、アイドリング時にフライホイールの'F マークとクランクケースの合わせマークとが 合っているか確認する。



12.クランクケース左カバーの取り

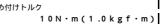
クランクケース左カバーを止めているボルト3本 を取り付ける。 締め付けトルク

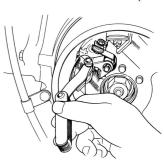
10N·m(1.0kgf·m)





チェンジペダルを取り付ける。 締め付けトルク





調整はブレーカー締付けビスを緩め、ブレー カープレートを少しずつ動かして行う。

調整を行った後に、クランクシャフトを回して ポイントの隙間が一番開く位置に合わせ、シッ クネスゲージでその隙間を測定する。

ポイント隙間 0.3~0.4 mm 範囲外の場合はポイントの交換をする。

ノーマルマフラーの取り付け



マフラーは、先にテールパイプをリヤショック の内側を通しフランジ部分をシリンダーヘッド の排気出口付近まで持っていく。



フランジのカラー 2 個をエキゾーストパイプを 挟み込むようにして取り付ける。



EXパイプ部のナット2個を締める。(仮止め) 締め付けトルク

10N·m(1.0kgf·m)



マフラー本体裏側にナットを取り付ける。 (仮止め) 締め付けトルク

10N·m(1.0kgf·m)



インレットパイプにOリングが付いていることを 確認する。



シリンダーヘッドとインテークマニホールドを止 めているボルト2本を取り付ける。

締め付けトルク 10N·m(1.0kgf·m) 13.フロントフェンダーを取り付け **|**



フロントフェンダー裏側の6角ボルト2本を締め て取り付ける。 締め付けトルク

10N·m(1.0kgf·m)

タイヤ空気を入れる。 エンジンから足廻りまで取り付けたボルト類に 緩みがないかチェックする。



〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号 TEL 0 7 2 1 2 5 1 3 5 7 FAX 0 7 2 1 - 2 4 - 5 0 5 9 お問い合わせ専用ダイヤル 0 7 2 1 2 5 8 8 8 5 7 http://www.takegawa.co.jp

-11-